



自民党

「見る・聞く・届ける」を信念に、地域と行政の架け橋になる！！

討議資料



神奈川県議会議員

しゅうへい

横浜市鶴見区

川崎 修平

県政レポート Vol.10

2018年4月発行

〈発行元〉川崎修平政務調査事務所
〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央1-13-9-101 TEL 045-642-6322 FAX 045-642-6661

地元・鶴見区を安心して安全な街にする為に

第三次、第四次安倍内閣において地元・鶴見区を選挙区とする小此木八郎代議士が国家公安委員長及び内閣府特命担当大臣（防災）、国土強靱化担当大臣に再任された。そこで、今年2月某日、かつて秘書をしていた川崎は国会議事堂を訪問し、小此木大臣と防災に関する対談を行った。

【川崎】 東日本大震災から7年、熊本地震から2年が経とうとしてますが、最近も大雪による事故があったり、噴火や集中豪雨など自然災害による被害が後を絶ちません。我々は災害に対し日頃からどのような「備え」をしていくべきなのでしょう。

【小此木】 まずは一人ひとりが防災意識を持つことが大切です。本日に日本は自然災害が多い国です。今言われたように近年も自然災害が頻発しています。国や県、市町村はもちろんのこと、国民一人ひとりが自覚を持って備えることが何よりの防災対策です。

【川崎】 私も県議会議員になってから様々な被災地を視察しましたが、現地の方とお話をすると、皆さん決まって「まさか自分が被災するとは思わなかった」とおっしゃっていました。【小此木】 テレビや新聞などで被災地の様子



～対談～ おこのぎ八郎 防災担当大臣に聞く！



川崎修平 神奈川県議会議員
28年 防災マニュアル作成配布
29年 防災士の資格を取得
現在は各地で防災講演会を開催中

を見れば、多くの方が心を痛め、募金やボランティアなどの支援に参加して下さるのですが、一方で自分の住む場所は、自分だけは大丈夫と思いがちです。でも実際は、いつ、何処で災害が発生してもおかしくないということを忘れてはいけないと思います。

【川崎】 いざという時は自分が自分の命を守るんだという「自助」の精神が必要ですね。

【小此木】 そうですね。それと備えという観点からだと「共助」の意識も大切です。企業や自治会、家族など小さなコミュニティでも災害が起きた際に何が必要かを話し合っていた方がいいです。いざという時に真っ先に手を差し伸べるのは間違いない身近にいる人たちです。し、「公助」、つまり、行政からの救助や支援は順番的にどうしたって最後になりますから。

【川崎】 「自助」「共助」「公助」の順番ですね。では、防災意識を持った上で皆さんに徹底していただきたい具体的な「備え」は何があげられるのでしょうか。

【小此木】 お願いしたいことは山ほどありますが、まずは、家具の固定、避難場所・避難経路の確認、家族との安否確認手段の取決め、家庭における備蓄の確認ですね。勿論、これが全てではありません。

【川崎】 基本的な対策です。本日に初めの第一歩というレベルの。

【小此木】 でも、まずはそこからです。国民一人ひとりにしっかりと防災の意識や知識を身に付けてもらえるよう、引き続き促していかなければなりません。

鶴見区防災講演会について

【川崎】 その意味では、私も昨年から『鶴見区防災講演会』という活動を始めています。内容は、今おっしゃった基本的なこともそうですが、災害の歴史から学べる教訓だったり、鶴見区の地形に特化した対策について話しています。

【小此木】 必要なことなので是非今後も続けて下さい。ただ、講演会に来てくれる人というのは個人的な繋がりがあったり、防災に興味がある人ばかりでしょうか、それ以外の人たちにも上手くアプローチできる方法を模索していく必要があると思います。

【川崎】 目下の課題です。

【小此木】 それと学校教育。子どもたちには防災意識の大切さを知る上でも、防災訓練に真面目に参加してほしいと思います。地道でもコツコツ積み上げていかなければ、安心して安全な街は作れませんからね。

防災意識の向上に向けて

【小此木】 確かに、いつ来るかも分からない、もしかしたら生きてるうちに来ないかもしれない災害に備えることは難しいかもしれませんが、災害の歴史を見ると、備えていたから、準備していたから助かったケースが本日に多いんです。だから、小さな積み重ねが、いつか自分や大切な人の命を守るんだと思えば是非今日から行動に移していただきたいと思っています。

【川崎】 鶴見区にとっては地元から防災担当大臣が選出されている強みもありますし、今が力の入れどころですね。これから防災に力を入れて活動してまいりますので、ご享受のほど宜しくお願いします。本日はお忙しい中、ありがとうございました。

【小此木】 ありがとうございます。



小此木八郎（鶴見区・神奈川区）
衆議院議員・国家公安委員長
内閣府特命担当大臣（防災）
国土強靱化担当大臣
自民党神奈川県連会長

出張防災講演会 各地で開催中！

昨年 10 月 7 日に行われた「鶴見区防災講演会」。
お陰をもちまして大変多くの方からご好評いただいたのですが、
一方で、「行きたいのに行けなかった」「家族や知り合いにも聞か
せたかった」との声も多く頂戴しましたので、川崎修平が皆様の住
む地域を廻り、出張講演を実施させていただくこととなりました。
自治会や企業・団体等の方々は勿論、5名程度の小さな集まり
でも構いませんので、ご興味のある方は是非ご検討いただければ
と思います。

【日時】

応相談。議会等、日程の都合でご希望に添えない場合があります。

【申し込み条件】

- ・少人数でのお申し込みも大歓迎。
- ・町内会館・自治会館等、開催場所の確保をお願いします。
- ・スクリーン、プロジェクター等の機材はこちらで用意いたします。
- ・講師料は無料ですが、会場費が発生する場合はご負担願います。
- ・準備の都合上、2週間前までにはお申込み下さい。

【講演内容】

鶴見区に特化した防災講演会。1時間程度。
但し、平成29年 10 月 7 日に鶴見神社で行われた防災講演会と同
内容になりますので、ご参加頂いた方はご注意ください。

【お問い合わせ】

川崎修平政務調査事務所 ☎ (045)642-6322



鶴見区防災マニュアル

川崎修平事務所にて 絶賛配布中！！

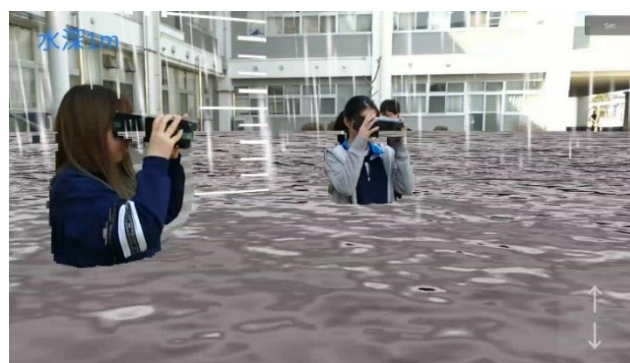


VR技術を活用した防災訓練の実施 県内で初の実現へ！！

昨年9月22日に行われた一般質問において、『「VR」を活用した防
災訓練を、県立学校でも積極的に取り入れていくべきである』と県に
提言しました。

「VR」とはバーチャルリアリティの略で、体験者にヘッドマウントディス
プレイと呼ばれるゴーグルのような機器を装着し、コンピューターによ
って合成した映像・音響などの効果を見せることによって、その空間
への没入感を生じさせることの出来るシステムです。

しかし、新しい技術を教育の現場に取り入れるのは難しく、実現は困
難かと思われたのですが、粘り強く必要性を訴えた結果、3月13
日、VR/AR を応用した防災教育の第一人者、愛知工科大学・板
宮朋基准教授指導のもと、神奈川県立川崎高等学校(川崎市川
崎区)において、県内初の活用検証が行われることになりました。



ゴーグルを付けた時に見える映像。今回は実際の背景にCGを合成した
AR（拡張現実）という技術を使用している。

当日は私も提案者として学校にお招きいただいたのですが、「身を
かがめなければ煙の中を移動できなかった」「水没すると足元が見
えず身動きが取れなくなるといった」など、通常の防災訓練では体
験できない、生徒たちのリアルな声を聞くことができました。

このVR(AR)を活用した防災訓練には、予算などまだまだ越えなけ
ればならない問題もありますが、教育の現場に導入する事ができ
れば、子どもたちだけでなく県全
体の防災力が向上することは間
違いありません。

引き続き、推進しつつ、経過を見
守りたいと思います。



地元行事にも積極的に参加中！！

お気付きの点、会合等の情報がございましたら川崎修平政務調査事務所までご連絡下さい！！



～ プロフィール ～

昭和 53 年 12 月 1 日生まれ(39 歳)
鶴見区の小学校・中学校を卒業 東海大学法学部卒業
行政書士資格を取得
小此木八郎代議士の秘書として鶴見区を 10 年にわたり担当(公設秘書)
平成 27 年 神奈川県議会議員 初当選
平成 29 年 防災士資格を取得

現在の役職
神奈川県議会議員(1 期)
自民党横浜市鶴見区第一支部 支部長
神奈川県議会 防災警察常任委員会 事務局長
神奈川県議会 決算特別委員会 委員
神奈川県議会 国土利用計画審議会 委員

【問い合わせ】

川崎修平政務調査事務所

〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央 1-13-9-101
TEL 045-642-6322 FAX 045-642-6661

HP : <http://www.kawasaki-syuhei.com>
Mail : info@kawasaki-syuhei.com